

打楽器の祭典

in 和光

共催：公益財団法人和光市文化振興公社



2026年5月4日(月祝) 5日(火祝) 6日(水振休)

場所：和光市民文化センター サンアゼリア

主催：日本打楽器協会

後援：一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、公益社団法人日本吹奏楽指導者協会、東京都吹奏楽連盟、埼玉県吹奏楽連盟

協賛：株式会社こおろぎ社、株式会社コマキ楽器、株式会社全音楽譜出版社、野中貿易株式会社、パール楽器製造株式会社、
有限会社バロックミュージック、株式会社ヤマハミュージックジャパン

ご挨拶

2026「打楽器の祭典in和光」

日本打楽器協会会長 岡田 知之



全世界には、あらゆる「物体」が存在します。それらの「物体」を叩いたり、落としたり、ぶつけたりすると、必ず「音」が出ます。その「音」を「雑音」とするか「美音」とするかは人それぞれですが、「音」を利用して音楽的に表現するならば、「物体」は「打楽器」という楽器となり、「リズム」をつくり出します。音楽に不可欠な「メロディー」は、ピアノ鍵盤のド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シと、嬰ド・嬰レ・嬰ファ・嬰ソ・嬰ラによる12の「音」を組み合わせて構成されます。また、打楽器にも木琴、マリンバ、ヴィブラフォン、鉄琴など、メロディーを奏でる楽器が存在します。12音を組み合わせたメロディーは世界に無限に存在しますが、「物体」の音を自由な発想で組み合わせた「打楽器音楽」は、それを上回る可能性を秘めています。日本打楽器協会が結成43年目にお贈りする「打楽器の祭典2026」にお越しくださいました皆様は、「音」の種類や「リズム」の無限の広がりをお楽しみいただけましたら幸いです。

ご挨拶

2026「打楽器の祭典in和光」

日本打楽器協会理事長 百瀬 和紀



4月5日、JPEC（ジュニア打楽器アンサンブルコンクール）全国大会は、各20校が出演し、盛会のうちに終了いたしました。特に高校生の演奏は素晴らしく、上位（最優秀）の評価の差は、審査員を悩ませるほどでありました。そのような中、今回グランプリを受賞した東海大学附属静岡翔洋高等学校の演奏は、全体が豊かなサウンドでバランスよく響き、パイプオルガンを思わせる感動的なものでした。「グランプリ受賞」、6日のフェスティバルでの再演を楽しみにしております。また、4日・5日には恒例の「新人演奏会」が開催されます。関東圏の音楽大学卒業生の中から学校推薦者による実質的なコンクールであり、将来を担う若い演奏家を、協会として引き続き応援してまいります。

2026「打楽器の祭典 in 和光」 実行委員

《実行委員長》百瀬 和紀

《新人演奏会》◎杉山 智恵子 上野 信一 高山 和己 吉原 史雄 山田 祐将

《中高生のための Solo コンクール》◎渡辺 由美子 伊坂 浩嗣 山本 浩代 中村 偉大 大森 愛奈

《フェスティバル・コンサート》◎百瀬 和紀 上野 信一 石内 聡明 高山 和己 井手上 達 渡辺 由美子 山田 祐将

《進行委員》成田 美侑紀

※「打生会」各音大より毎年1～2名選出され企画、運営に参加する。

2026年度打生会代表：◎松下 真奈（芸大） 阿久根 萌香（東音） 青木 那由（昭和） 松村 瑞歩（国立） 小澤 育弥（東邦）

西山 歌音（尚美 MC） 鈴木 晴翔（洗足） 室 瑠衣奈（武蔵野） 寺崎 真利亜（桐朋）

5/4（月）小澤 育弥（東邦） 西山 歌音（尚美） 鈴木 晴翔（洗足） 木村 優寿（洗足） 草野 絢海（洗足）

泉 流菜（東音） 松川 昊（東音） 水野 ゆずき（東音）

5/5（火）西村 心葉（国立） 吉田 悠透（国立） 片岡 蒼都（国立） 松村 瑞歩（国立） 大貫 はるき（国立）

笈川 奈那海（藝大） 高橋 日奈多（藝大） 糸川 咲菜（藝大）

5/6（水）齊藤 大峨（武蔵野） 荒井 美咲（武蔵野） 田 一平（武蔵野） 小林 暖大（東音） 若林 央貴（東音）

坂本 万歩（東音） 川崎 美樹（東音） 川島 璃久（昭和） 田中 真叶（昭和） 西村 奏輝（昭和） 石井 梓聖（昭和）

※協賛各社様には楽器提供、数々の副賞等、毎年有難うございます。この場をおかりしまして御礼申し上げます。

2026「打楽器の祭典 in 和光」スケジュール

2026/05/04 (月祝)

14:00 ～ 2026 年度 第 42 回打楽器新人演奏会～① (大ホール)

司会：成田 美侑紀

出演者：後藤 賢世 小島 夕未子 小田 武虎 長澤 莉佳 伊集院 穂香 齋藤 優多 本島 可夢
村田 倫樹 星野 美咲

審査員：杉山 智恵子 石井 喜久子 石内 聡明 井手上 達 上野 信一 岡田 知之 小川 佳津子
神谷 百子 木次谷 紀子 久保 昌一 栗原 里沙 齊藤 美絵 高口 かれん

2026/05/05 (火祝)

14:00 ～ 2026 年度 第 42 回打楽器新人演奏会～② (大ホール)

司会：成田 美侑紀

出演者：三宅 莞和 濱崎 広太郎 新田 史央 黒沼 結香 榎本 若葉 中村 柊 國分 大悟 中本 亜美
審査員：杉山 智恵子 石井 喜久子 石内 聡明 井手上 達 上野 信一 岡田 知之 小川 佳津子

神谷 百子 木次谷 紀子 久保 昌一 栗原 里沙 齊藤 美絵 高口 かれん

表彰式・閉会式

2026/05/06 (水振休)

10:00 ～ 第 14 回中高生のための Solo コンクール (小ホール)

小太鼓 (中学生部門・高校生部門) / ティンパニ (高校生部門)

審査委員：渡辺 由美子 伊坂 浩嗣 木次谷 紀子 平子 ひさえ 山本 浩代

表彰式・閉会式

15:00 ～ フェスティバル・コンサート (大ホール)

司会：成田 美侑紀

- サンアゼリア WAKO パーカッションクラブ
- 2026 年第 24 回 JPEC 中学校の部 最優秀グランプリ
- 2026 年第 24 回 JPEC 高等学校の部 最優秀グランプリ
- 2026 年度 第 42 回新人演奏会「岩城賞」受賞者
- 上野信一 & P.G. フォニックス・レフレクション "Special Guest Concert"
- 打楽器アンサンブル "ラガ" (宮坂香 / Edwin Tovar / Ernesto Juárez Soto)
- ザ・ブルースカイトリオ (Drum: 奥田英人 / Vib: 宅間善之 / Bass: 菅井信行)
- 協会員・ゲストによる大フィナーレ! 「ラブソディー」

作曲：外山雄三 指揮：百瀬和紀 Vib：渡邊歩紀 (昨年度岩城賞)

18:00 ～ 打生会主催による交流会 / ステージ上にて

2026/05/04 14:00 ～① / 2026/05/05 14:00 ～②

2026 年度 第 42 回打楽器新人演奏会（大ホール）

趣 旨

若い打楽器奏者の中から有能な人材を発掘し、演奏発表の場を提供。日本の打楽器界の発展に寄与することを目的とします。

2026 年度第 42 回打楽器新人演奏会担当委員長 杉山 智恵子

連日報道される戦争のニュース。世界の枠組みが変わりかねない緊張のニュース。日本国内でいつ何処で起こるかわからない災害のニュース。心配事は絶えませんが、私達は音楽の力を信じてできる事を続けて行く事が大切であると思います。さて、打楽器協会主催「打楽器新人演奏会」は第 42 回を迎えます。4 年間打音に真摯に向き合い、音楽と共に歩んできた集大成の晴れの舞台です。協会と致しましても皆さんを応援しています。本日は、将来を担う有能な若き打楽器奏者達の演奏を、どうぞごゆっくりお楽しみ下さい。

審査委員長：杉山 智恵子

審査員：石井 喜久子 石内 聡明 井手上 達 上野 信一 岡田 知之 小川 佳津子 神谷 百子

木次谷 紀子 久保 昌一 栗原 里沙 齊藤 美絵 高口 かれん

司会：成田 美侑紀

「岩城宏之賞」について

岩城宏之賞（以後岩城賞）は世界的な指揮者であり、打楽器奏者としても活躍された故岩城宏之氏の功績を顕彰し、日本打楽器協会会長として我々に示された多くの指標と光を心に留め、次代に継承すべく、優れた新人打楽器奏者に贈る名誉とする。

岩城賞規定

岩城賞は故岩城宏之氏のご意志により夫人（木村かをり氏）より贈られる。受賞者は岩城賞選考委員の選出により各年 1 名選出を原則とする。（2007 年 4 月 1 日制定・2012 年 4 月 1 日改訂）

岩城賞受賞歴

2007 年度第 23 回	野尻 小矢佳（武蔵野音楽大学）	2008 年度第 24 回	千頭 加奈子（大阪音楽大学）
2009 年度第 25 回	端野 愛子（同志社女子大学）	2010 年度第 26 回	関 聡（洗足学園音楽大学）
2011 年度第 27 回	亀井 博子（東京藝術大学）	2012 年度第 28 回	西村 安世（東京藝術大学）
2013 年度第 29 回	神部 真愛（洗足学園音楽大学）	2014 年度第 30 回	小針 彩菜（洗足学園音楽大学）
2015 年度第 31 回	蓮實 志帆（洗足学園音楽大学）	2016 年度第 32 回	池田 健太（大阪教育大学）
2017 年度第 33 回	謝 皓 昀（東京音楽大学）	2018 年度第 34 回	千葉 彩加（桐朋学園大学）
2019 年度第 35 回	坂口 璃々子（東京音楽大学）	2020 年度第 36 回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
2021 年度第 37 回	山崎 大輝（東京藝術大学）	2022 年度第 38 回	福光 真由（洗足学園音楽大学）
2023 年度第 39 回	尾崎 夏子（東京音楽大学）	2024 年度第 40 回	柴田 紗枝子（東京音楽大学）
2025 年度第 41 回	渡邊 歩紀（洗足学園音楽大学）		

No.1 後藤 賢世

N.J.Zivkovic : *Generally Spoken It is Nothing But Rhythm*

プロフィール
武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科打楽器専攻卒業。8歳の時よりドラムを始め中学高校で吹奏楽部に所属する。大学在学時はウィンドオーケストラ・管弦楽団公演へ出演する。またクラシックやポップスシーン、幼児向け公演等幅広く活動する。吹奏楽部活動指導員認定者。現在武蔵野音楽大学大学院音楽研究科修士課程打楽器専攻在学中。

楽曲説明

シンプルなりズムを題材にし内面から湧き上がるエネルギーや自然の流れを表現している。静謐な響きの中に潜む緊張と、突如として噴き出すリズムが対比され、内なる声広がっていく。曲頭のリズムから段々と複雑で激しい動きとなり最後は静寂に包まれて終わる。広い空にリズムが刻まれていく感覚、それは言葉以前の感覚と内奥へ感じる衝撃を音へと昇華させているとも表現できる。

No.2 小島 夕未子

石井 眞木 : *Thirteen Drums op.66*

プロフィール
茨城県桜川市出身。武蔵野音楽大学音楽学部演奏学科卒業。同大学卒業演奏会に出演。これまでに打楽器を安藤芳広、黒田英実、堀尾伸二の各氏に師事。現在はドラムラボ国立校・府中校にて講師を務める。

楽曲説明

「サーティーン・ドラムス」は、石井眞木による独奏打楽器のための作品である。明確な旋律を持たない本作においては、響きの差異や間の緊張が音楽の核を成し、反復と変化の中で独自の時間が形成されていく。広がりとり束を繰り返す音の流れは、既知の構造でありながらも、その都度異なる表情を見せ、聴き手を新たな聴取体験へと導く。打楽器独奏の可能性を大きく拡張した作品として知られる。

No.3 小田 武虎

石井 眞木 : *Thirteen Drums op.66*

プロフィール
神奈川県横浜市出身。昭和音楽大学を経て、東京音楽大学大学院研究生に所属。調布国際音楽祭2024や、小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトXIX「ラ・ボエーム」などにオーケストラメンバーとして参加。第19回ルーマニア国際音楽コンクール打楽器部門第2位受賞。これまでに打楽器・マリンバを藤原耕、石内聡明、植松透、三村奈々恵、西久保友広、久保昌一の各氏に師事。

楽曲説明

「サーティーン・ドラムス」は、13個の膜質打楽器のみを用い、銅鑼、シンバル等の長い余韻を有する打楽器、あるいは音色的な打楽器は一切使用していない。これはむしろ、作曲にあたって、膜質の太鼓の律動的魅力を再認識するためでもあったが、12個からなる拍節-16分音符(4連音)の単純なりズムセリーによる数理的秩序と、第13拍節に侵入する非定量的リズムとの相互作用とその展開が、この作品の核を形成している。このことを明瞭に知覚できるよう、との意図で選択された楽器編成でもある。「サーティーン・ドラムス」は、太鼓を叩くという原点への回帰と、定量的なりズムと非定量的リズムの交錯に新しい地平を求めるといふ、二つの課題にシンプルな形で挑戦を試みたものである。-石井眞木(一部抜粋を含む)

No.4 長澤 莉佳

一柳 慧 : *森の肖像 - マリンバ独奏のための -*

プロフィール
宮城県仙台市出身。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。学内オーディションを経て第51回、第52回室内楽定期演奏会に出演。第16回安倍圭子国際マリンバアカデミー受講。富士山河口湖音楽祭第5回、第6回マスタークラス受講。オーディションを経て、披露演奏会に出演。現在、同大学院修士課程に在籍。これまでに打楽器を加藤詢子、杉山智恵子、藤本隆文の各氏に師事。

楽曲説明

一柳慧は、ジョンケージに学び、凶形楽譜などを用いた斬新な作風で大きな反響を呼び、独自の音楽世界を切り拓き前衛音楽の旗手としての地位を確立させた作曲家である。「森の肖像」は、1983年菅原淳氏の委嘱により作曲された。冒頭と結尾部には風や鳥、虫といった自然界の音が想起される即興的な音型が散りばめられ、断片的かつ流動的な響きによって「森」の多層的な気配が描き出されている。中間部は連続する細かな音型が持続的な運動を形成し、その上に先の素材が重ねられ緊張感が上昇しながらクライマックスへと至る。この対比と回帰の構造が森の静と動、生成と循環が表現されている。一柳慧はかつて師であるジョンケージから「森に出て音を聴け」という指導を受けたと語っており、自然環境の中に存在する音への感受性が彼の創作の基盤になっているのだろう。

No.5 伊集院 穂香

A.Gerassimez : Asventuras



プロフィール
国立音楽大学創作演奏学科卒業。ピアノを一色起美代、藤原香宝里、八戸契子の各氏に師事。グレンツェンピアノコンクール熊本、福岡大会金賞。九州音楽コンクールピアノ部門銀賞。12歳より打楽器を始める。これまでに打楽器を飯干智子、鎌田かおり、福田隆、幸西秀彦の各氏に師事。第42回鹿児島新人演奏会に出演。国立音楽大学オーケストラでは主にティンパニを担当し、準メルクル氏指揮で火の鳥、藤岡幸夫氏指揮でシベリウス交響曲第1番、井出詩朗氏指揮による吹奏楽で山形、岩手公演、2025年度国立音楽大学卒業演奏会などの演奏会に出演。

楽曲説明

作曲者、Alexej Gerassimez は1987年ドイツのエッセン出身。打楽器奏者であり、作曲家で世界的に活躍している。今回は Alexej Gerassimez の代表的なスネアドラムソロ曲 Asventuras を演奏する。この曲はスネアドラムのヘッドだけでなく、リム、胴など、様々な部位を使い、スティックだけでなくブラシやマレットを使用し演奏する。様々な音色や奏法があり、スネアドラムを冒険しているような曲だ。

No.7 本島 可夢

A.Tan : Lotus



プロフィール
国立音楽大学附属小学校、中学校、高等学校卒業 国立音楽大学 演奏・創作学科 弦管打楽器専修 打楽器専攻を首席で卒業し武岡賞を受賞。国立音楽大学附属中学校ではピアノを専攻、国立音楽大学附属高等学校音楽科入学時に打楽器科に転科する。5歳よりピアノを始め、7歳よりマリimbaを始め。第31回日本クラシック音楽コンクール打楽器部門にて全国大会出場。マリimbaを新谷祥子、木次谷紀子 ピアノを故小林光裕、津嶋啓一 各自に師事。

楽曲説明

Lotus は、アジア文化において「美しさ」や「純粋さ」の象徴とされる蓮の姿に着想を得た作品である。泥という望ましくない環境の中でも美しく成長し、水面に浮かぶように咲くその姿が描かれている。一方、ギリシア神話では、その実を口にすると心地よい眠りに誘われ、現実を忘れてしまう植物としても知られる。楽曲は、静けさと浮遊感をもつ“漂う”主題と、より内省的で不安定な主題の対比によって構成される。静けさは安らぎを、不安定さは困難を象徴し、音楽は次第にエネルギーを増しながら展開し、最後は再び静けさへと回帰して曲を閉じる。

No.6 齋藤 優多

ヒダノ 修一 : ~鎌倉~ KAMAKURA ~



プロフィール
神奈川県川崎市出身。2026年度東京音楽大学打楽器科を首席で卒業。在学中、東京音楽大学ソロ・室内楽定期演奏会、卒業演奏など、大学主催の演奏会に出演。現在、同大学院修士課程1年次に在籍。第30回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。第23回、第24回日本ジュニア管打楽器コンクール本選考会入選。これまでに打楽器を飯野未奈美、菅原淳、西久保友広の各氏に、マリimbaを西久保友広、神谷百子の各氏に師事。

楽曲説明

本作「鎌倉~ KAMAKURA ~」は、我が弟子 Y 氏の為に作曲した。神奈川県鎌倉で育った彼と同様に私にも幼少期から馴染み深い場所である。「鎌倉」という街には1000年以上変わらないものが沢山ある。一方で、次世代が様々な考え方を持ち込み新しい街へと進化を遂げている。作者は日本太鼓界の真っ只中にいるが、元々はクラシック打楽器や長唄・民族音楽などを学んでいた。現代と古典的な打楽器の奏法を組み合わせ、全く新しい世界に挑戦してみた。それはまるで「21世紀の鎌倉の街並み」のように。ヒダノ修一。

No.8 村田 倫樹

F.B.Mache : Phenix



プロフィール
中学の吹奏楽部にて打楽器を始める。川崎市立橘高等学校、東京藝術大学を経て、現在同大学大学院修士課程1年に在学中。これまでに打楽器を寺田由美、土屋吉弘、藤本隆文の各氏に師事。第22回“万里の長城杯”国際音楽コンクール第2位。(第1位なし)学内でのオーディションに選抜され、第50回、第51回、第52回室内楽定期演奏会に出演。

楽曲説明

フランソワ=ベルナル・マシュ(1935年~)はフランスの現代音楽作曲家で、パリ国立高等音楽院にてメシアンに作曲を師事した。本日演奏するフェニックスは1982年、シルヴィオ・グアルダによって初演されている(グアルダはクセナキスからプサッファを献呈された人物でもある)。冒頭はヴィブラフォンのソロから始まるが、拍子は指定されておらず、奏者が即興的に弾いているかのように自由に奏される。次のセクションではヴィブラフォンのメロディーがそのまま膜鳴楽器に転用されるが、部分的にパルスを感じられる部分が挿入される。これをきっかけに曲が発展していき、最後は不死鳥が火に飛び込むかのような激しさを持って曲を終える。

No.9 星野 美咲

伴奏：片寄 拓海

伊福部 昭：マリンバとオーケストラのための ラウダ・コンチェルタータ



プロフィール

東邦音楽大学一年次音楽療法専攻在学後、二年次より打楽器専攻に転専攻し卒業。卒業代表演奏会に選出。第4回群馬・菅打楽器ソロコンテスト高校の部第一位。富士山河口湖音楽祭 2024・2025 にて池上英樹、塚越慎子の両氏によるマスタークラスを受講。第43回ぐんま新人演奏会に出演。群馬音楽協会員。みどり市部活動指導員。これまでに打楽器・マリンバを河野玲子、板橋享子、池上英樹、塚越慎子、名倉誠人、榊原

あい、A. ミッターマイヤーの各氏に師事。

楽曲説明

伊福部昭は、昭和を代表する日本の作曲家である。アイヌ民族の音楽に影響を受けた民族的な旋律、独特なリズム、重厚な管弦楽法を使用する作風が特徴である。この特徴は「ラウダ」にも反映されている。この曲は、木琴奏者である平岡養一により、オーケストラとシロフォンの協奏曲として委嘱された曲だが初演されずに終わってしまう。しかしその後、新星日本交響楽団の依頼により、伊福部昭はマリンバソロ用に改作し、安部圭子のマリンバによってついに初演された。現在では多くのマリンバ奏者が演奏される、マリンバ界には欠かせない大曲へと成長した。

Yamaha Chimes

YCH-7118/YCH-6118


YAMAHA
Make Waves


サウンドサンプルは
 ◀こちら



◀製品情報はこちら



◀楽器リースは
 はこちら

お問い合わせ レンタル・リース課
 050-3107-6717

お問い合わせ

お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器 ご相談窓口
 フリーダイヤル TEL.0120-132-808
 携帯電話、IP電話からは 050-3852-4087へおかけください。
 受付時間：月曜日～金曜日 10:00～12:00/13:00～17:00
 （祝日、センター指定休日を除く）

株式会社ヤマハミュージックジャパン

No.10 三宅 莞和

福士 則夫：ソロ・パーカッションのためのグラウンド



プロフィール
香川県出身。高松第一高等学校普通科を経て、昭和音楽大学を卒業。現在、同大学大学院音楽研究科修士課程1年次に特待生として在籍。第27回「万里の長城杯」国際音楽コンクール打楽器部門大学生の部第2位。学内においては、第32回コンチェルト定期演奏会にてソリストを務めたほか、令和7年度卒業演奏会などに出演。これまでに打楽器を池永健二、石内聡明、一丸聡子、菅原淳、杉山智恵子、室内楽を石内聡明、植松透の各氏に師事。

楽曲説明

《グラウンド》は1976年、打楽器奏者・吉原すみれ氏の委嘱により作曲された。西洋由来の打楽器に加え、木魚やリンなどの日本の伝統楽器も登場し、44種類に及ぶ打楽器が用いられている。それらは旋律やリズムを担うためではなく、持続音や摩擦音、余韻といった音響を際立たせる素材として扱われる。明確な主題や動機の展開のない音楽は「空間＝グラウンド」の上で音が重なり、変化し、やがて消失していく過程によって構成される。拍節感やテンポは固定されず、速さや秒数による指示のもと、演奏者の呼吸や間の取り方が音楽の流れを形づくる点も特徴である。緻密な構成の中に、日本的な「間」や呼吸の感覚が自然に息づく、現代打楽器作品を代表する一曲である。

No.12 新田 吏央

伴奏：中里 百花

安倍 圭子：Marimba Concertino “THE WAVE”



プロフィール
3歳よりマリンバを始める。桐朋女子高等学校音楽科（共学）を経て、桐朋学園大学打楽器科を首席で卒業。World Classical Music Awards2022でGold Prize全部門でGrand Prize等最高位での受賞歴多数。演奏活動も多岐に渡る。これまでにマリンバを金子沙音理、石原慎之助、安倍圭子、藤井里佳、打楽器を安江佐和子、小島光の各氏に師事。2020年度ヤマハ音楽支援奨学生、2022年度桐朋学園大学入学時特待生。

楽曲説明

世界的マリンバ奏者であり私の師匠である、安倍圭子氏作曲の「The WAVE」は、人間がつくりだす和と芸術の新しい波が広がっていった欲しいという思いを込めて作られた。流れ込む様な祈りのフレーズ、未来への希望を子供達へ託すような舞踏的なスケルツォのメロディー。終盤には人間の生きるエネルギーを激しく燃えたとぎる様に表現している。そして、祈りのメロディーを次世代の人々が生命を謳歌する場面の歌へと発展させ、迫力のあるクライマックスとなる事を願った。

No.11 濱崎 広太郎

福士 則夫：ソロ・パーカッションのためのグラウンド



プロフィール
埼玉県出身。12歳より打楽器を始める。東邦音楽大学を卒業。尚美ミュージックカレッジ専門学校コンセルヴァトールディプロマ科を首席で卒業し、「Artist Diploma」を授与。第6回中高生のためのソロコンクールティンパニ部門にて金賞受賞 第89回TIAA全日本クラシック音楽コンサート奨励賞受賞 第20回ルーマニア国際音楽コンクール打楽器部門第3位 打楽器を河野玲子、久一忠之、渡辺由美子に師事。これまでにアントン・ミッターマイヤー、ルードヴィッヒ・アルベルト、名倉誠人、石田真知のマスタークラス及びレッスンを受講。

楽曲説明

1976年に打楽器奏者の吉原すみれ氏の委嘱により作曲された。23種類の楽器を用いて、奏者の動き、楽器ごとの奏法の変化、空間の感じ方、奏者の技術等と、演奏において重要となる要素が一層際立つ作品となっている。打楽器現代音楽において、マルチパーカッションの代表作品とも言われ、独特な存在感を持つ曲だ。聴こえてくる音色が、音符とリズムの範疇を超えた、現代音楽の新たな可能性を感じさせられる。国内・海外のコンクールの課題曲としても数多く演奏されており、打楽器奏者にとって重要なレパートリーの一つである。

No.13 黒沼 結香

石井 眞木：Thirteen Drums op.66



プロフィール
埼玉県出身。中学より吹奏楽部で打楽器を始める。大宮光陵高校音楽科打楽器専攻卒業。桐朋学園大学音楽学部音楽科打楽器専攻卒業。現在、桐朋学園大学打楽器科研究生1年。打楽器を渡辺壮氏、マリンバを藤井里佳氏に師事。GPS主催第1回SPSスネアドラムコンテスト第2位。

楽曲説明

この作品は、作曲家、指揮者でもある石井眞木によって1985年に作曲された、太鼓13個のための曲である。彼は2003年に急逝するまで、オーケストラや打楽器、邦楽器のための作品を数多く作曲した。以下オフィシャルサイトより抜粋。“打楽器音楽と一口にいっても多種多様であり（中略）多彩な音色世界世界を創るのが一つの常識になっている。その観点からいえば、「サーティーン・ドラムス」は、あえてこの現代の常識に反抗した作品である。（前略）太鼓を叩くという原点への回帰と、定量的なリズムと非定量的リズムの交錯に新しい地平を求めるといふ、二つの課題にシンプルな形で挑戦を試みたものである。”引用元：石井眞木オフィシャルサイト『サーティーン・ドラムス』<https://ishii.de/maki/ja/works/1985-thirteen-drums/> 2026年4月3日アクセス。

No.14 榎本 若葉

伴奏：西村 京一郎

P.Hurel : Tombeau in Memoriam Gérard Grisey

プロフィール
埼玉県さいたま市出身。9歳より打楽器を始める。洗足学園音楽大学を首席卒業。優秀賞を受賞し、卒業演奏会に出演。第29回 KOBE 国際音楽コンクール打楽器C部門優秀賞、第5回洗足学園音楽大学打楽器コンクール第2位、第6回同コンクール第3位。第1回ヤマハ新人演奏会マリimba部門に出演予定。これまでに打楽器を高田亮氏に師事。

楽曲説明

本作は、G. グリゼイ (1946-1998) の死を受け、P. ユレル (1955-) が作曲した追悼作品である。ヴィブラフォンに加えた複数の打楽器はピアノの響きを「揺さぶる」役割を担い、音の輪郭を揺らしたり響きを濁らせたりすることで音色を変化させる。こうした変化の度合いに応じて緊張と弛緩が生まれ、その推移が音楽の流れを形作る。また、音色や倍音の関係性に着目する点にはスペクトル音楽に通じる音響的発想がみられ、作曲者は、素材の選択において分析だけでなく直感も関与するとし、本作は儀式的な性格をもつ作品であると述べている。

No.16 國分 大悟

P. Cheung : 念2

プロフィール
埼玉県出身。9歳よりヴァイオリンを始める。その後、シンバルに魅了され打楽器を始める。これまで打楽器を、久一忠之・河野玲子・A. ミッターマイヤー・板橋享子の各氏に師事。中学在学時に加須市夢・未来応援事業 夢チャレンジャーに市民の投票により最年少で選出される。自ら独学で作曲も行っており、高校在学中に作曲した作品が、多数の応募作品の中から選出され、富士見市公式のファンファーレとして採用される。

その他、打楽器協奏曲「アハンカーラ」を、陸上自衛隊東部方面音楽隊と作曲家自身の独奏により初演を果たした。

楽曲説明

パイアス・チェンは、香港出身のマリンバ奏者・作曲家である。現在はアメリカを拠点に、演奏活動と教育活動を国際的に展開している。作曲家としても活動し、マリンバや打楽器の可能性を拡張する作品を多数発表。演奏家の視点を生かした作品は、世界各地で演奏されている。「念2」は、マルチパーカッションのために作曲され、限られた楽器の音色を通じて、音楽的/芸術的な深みを表現することを目指した作品である。アジア音楽の影響が随所にみられるが、楽曲の核は西洋音楽の構造に深く根ざした作品となっている。

No.15 中村 柊

R.Bennett : After Syrinx II

プロフィール
愛知県出身。東京音楽大学打楽器科を卒業し、現在同大学大学院修士課程1年次に在籍。KOBE 国際コンクール本選、日本クラシック音楽コンクール全国大会などに出場。これまでに、打楽器を水間ゆみ、山口大輔、柴原誠、神谷百子、菅原淳の各氏に師事。

楽曲説明

イギリスの作曲家であるリチャード・ロドニー・ベネットによって

1984年に作曲されたマリンバ独奏曲。1913年に作曲されたクロード・ドビュッシーの無伴奏フルートのための「シリンクス」に着想を得ており、アメリカの打楽器奏者であるウィリアム・マーシュが委嘱初演した。本作は性格の異なる複数のセクションから構成され、各セクションはアタックで切れ目なく演奏される。反復される主題を軸にしながらも、ベネットの色彩豊かな音響によって音楽は多様な表情を見せる。穏やかで静謐な響きから、鋭く躍動感に満ちたパッセージまで、対照的な性格が連続的に展開されていくのが特徴である。

No.17 中本 亜美

石井 眞木 : 飛天生動 III

プロフィール
熊本県天草市出身。12歳よりマリンバを始める。ルーテル学院高等学校音楽コースを卒業。第22回 PAS イタリア国際打楽器コンクールマリンバ部門カテゴリーBにて第1位を受賞。第29回 KOBE 国際音楽コンクール打楽器C部門にて優秀賞を受賞。第26回「長江杯」国際音楽コンクール打楽器部門大学の部にて第2位を受賞。その他、複数のコンクールで入賞を果たす。第16回安倍子国際マリンバアカデミーにて安倍圭子、Pius Cheung の各氏にマスタークラスを受講。これまでにマリンバを神谷百子、遠山孝治、伊藤朱美子、各氏に師事。

その他、打楽器協奏曲「アハンカーラ」を、陸上自衛隊東部方面音楽隊と作曲家自身の独奏により初演を果たした。

楽曲説明

日本を代表する作曲家・指揮者の石井眞木 (1936-2003) が1987年に作曲し、マリンバ奏者の藤井むつ子氏によって初演された作品である。「飛天」とは、中国の敦煌石窟の壁面に飛翔する天女のことだが、藤井氏はこの作品の飛天を「男の飛天」と語る。三部構成であるこの作品の最後は、奏者が高度なテクニックの極限に挑み、さらに激しい連打が展開され、その頂点の直後、音楽は突如として静寂へと転じる。そこには類い稀な舞踏家、石井眞木の父である石井摸の壮絶な人生が重なり、石井眞木自身の姿も投影されているように見える。

2026/05/06 10:00 ~

第 14 回中高生のための Solo コンクール (小ホール)

趣 旨

打楽器の基本技術と音楽表現の向上を目的に青少年の育成をはかる。

中高生のための Solo コンクール委員長 渡辺 由美子

第 14 回コンクールにあたり、本年も課題曲を先生方に新たに作曲していただきました。ご尽力くださいました先生方に、心より御礼申し上げます。現在、全国では少子化の進行に歯止めがかからず、楽器人口の減少も大きな課題となっております。多くの吹奏楽部においても、部員数の減少に悩まされております。しかしながら、このような状況であるからこそ、ソロ活動の重要性はますます高まっているのではないのでしょうか。今こそ音楽の力で前を向く時であると強く感じております。本日ご出場の皆様におかれましては、これまでの練習の成果を遺憾なく発揮され、素晴らしい演奏をご来場のお客様にお届けください。末筆ではございますが、本大会開催にあたりご尽力を賜りました関係各位ならびに審査員の皆様、実行委員の皆様にご心より感謝申し上げます。また、会場をご提供いただきました和光サンアゼリアの皆様にも厚く御礼申し上げます。

小太鼓コンクール作曲者

伊坂 浩嗣 (東邦音楽大学研究員)

岡田 知之 (日本打楽器協会会長)

山本 浩代 (Discussion of Percussion Q21)

山田 祐将 (富士山静岡交響楽団)

井手上 達 (洗足学園音楽大学)

百瀬 和紀 (日本打楽器協会理事長)

山本 真理子 (聖徳大学名誉教授)

渡辺 由美子 (東邦音楽大学講師)

審査委員

審査委員長：渡辺由美子

審 査 員：伊坂 浩嗣 木次谷 紀子 平子 ひさえ 山本 浩代

参加者

【小太鼓中学生部門】	16 河内 修司	12 藤田 ちゃこ	11 岡弘 耕太郎	27 遠藤 咲希
01 佐久間 心大	17 斉藤 恵那	13 中島 啓汰	12 内田 結夏	28 渡邊 龍大
02 采女 泰大	18 工藤 聡真	14 金子 真奈美	13 延原 伊吹	29 小谷 充希
03 小池 由華		15 加藤 隼人	14 立花 大地	30 中島 啓汰
04 小澤 裕宝	【ティンパニ高校生部門】		15 平松 あつき	31 齋藤 大祐
05 河合 玲旺	01 齋藤 清愛	【小太鼓高校生部門】	16 岸田 和磨	32 井上 治彦
06 橋本 岬英	02 徳田 陽	01 六本木 奏輔	17 杉田 虹稀	33 岸端 泰頼
07 大西 主水	03 杉田 瑛美	02 矢島 沙耶	18 石田 響己	34 熊崎 悠翔
08 田中 琉輝也	04 根来 愛美	03 染谷 尚颯	19 金田 侑己	35 原 美月
09 早川 虹	05 岸田 和磨	04 鈴木 ノア	20 矢畑 碧大	36 加藤 隼人
10 千田 晃大朗	06 小谷 充希	05 栗原 結也	21 貫井 美希	37 岩崎 心悟
11 矢口 太陽	07 石田 響己	06 安野 双葉	22 大迫 麦右	38 小川 輝龍
12 三上 陽向	08 井上 治彦	07 長谷 光明	23 杉田 瑛美	39 河合 和奏
13 前田 龍人	09 貫井 美希	08 山口 真咲斗	24 山崎 凜音	40 阿部 由奈
14 横塚 蓮	10 岸端 泰頼	09 山本 千晴	25 片倉 千穂	
15 塚本 紗衣	11 立花 大地	10 齋藤 清愛	26 豊福 紗生	

2026/05/06 15:00 ~

フェスティバル・コンサート (大ホール)

司会：成田 美侑紀

♪ サンアゼリア WAKO パーカッションクラブ

2014年に公益財団法人和光市文化振興公社主催にて実施されたワークショップから発足し、毎年活動を行っています。コロナ禍も乗り越え、10年を越える活動となりました。和光市民文化センター・サンアゼリアを拠点に和光市をはじめとする地域の子どもたちを中心に結成されたパーカッションクラブです。マリмбаを中心としたパーカッションチームで様々な曲を演奏します。

指導：千葉彩加 菊池咲希 平野江梨／監修：藤井むつ子／助成：子どもゆめ基金／協力：株式会社全音楽譜出版社



♪ 2026年第24回ジュニア打楽器アンサンブルコンクール入賞校による演奏

中学校の部 最優秀グランプリ受賞 大垣市立東中学校

ソソバラ

(作曲者：E. セジオルネ)

岐阜県の西部に位置する大垣市。今、話題の関ヶ原の戦いで石田三成の本拠地となった大垣城があります。また、松尾芭蕉が全国を行脚し、最後に辿り着いた結びの地としても有名です。社会人野球が好きな方には、校区に西濃運輸があります。打楽器アンサンブルは今年県代表として東海大会と中部日本重奏コンテストの本大会への出場を果たしました。JPEC全国大会には3年連続の出場となります。音色を大切にすること、安定したビート感を出せることを目標に練習を積み上げてきました。今回、打楽器の祭典へのお誘いをいただきましたが、条件が整わなかったため、出演はできません。本当に残念ですがまたの機会を目指して、頑張ります。

顧問：中村 充／出演者：山崎 哲平 水井 郁歌 和田 倭愛 馬淵 文将 小山 拓士 山田 翔也 田中 一誠 深谷 直杜



高等学校の部 最優秀グランプリ受賞 東海大学附属静岡翔洋高等学校

協奏曲

(作曲者：J. シュワントナー／編曲者：国井 弓湖)

東海大学附属静岡翔洋高等学校吹奏楽部です。本日演奏いたします曲は、J. シュワントナー作曲、国井弓湖編曲『協奏曲』です。この曲は、シュワントナーらしさが存分に詰まった、静寂とエネルギーのコントラストが3楽章にも連なるドラマ性のあるオーケストラ作品です。部の中でも個性豊かな私たちですが、『協奏曲』を追究する過程で、ぶつかり合いながら仲を深めました。さまざまな経験をさせていただき、八人で泣いた日も、そして嬉しくて叫んだ日もありました。その1ページに、ジュニア打楽器アンサンブルコンクール『グランプリ賞』の受賞があります。練習に励んだ日々はかけがえないものとなりました。本日の演奏がこの八人で臨む最後の『協奏曲』となります。身に余る賞をいただきましたことに感謝をお伝えできるよう、また八人での最後のアンサンブルを楽しみながら、精一杯演奏いたします。

顧問：島 共子／出演者：岸端 泰頼 小谷 充希 鈴木 日香理 藤田 ちよこ 安原 凪人 赤井 遼 堀池 友愛 岩田 琥花



♪ 2026 年度 第 42 回新人演奏会「岩城宏之賞」受賞者

♪ "Special Guest Concert"

上野信一 & 「P.G. フォニックス・レフレクション」



指揮 上野 信一

演奏 悪原至 大場駿 杉江瑠維子 新野将之 曲淵俊介 渡邊まや 若崎そら

ピアノ 山本 香紫

Jhon Psathas (J. ササス) : Cloud Folk (クラウド・フォーク)

マルチ・パーカッショニスト上野信一が国内外で広く活躍するソリストたちと1988年に結成した精鋭打楽器演奏家集団です。毎年、定期的にコンサートを行い、西村朗、新実徳英、池辺晋一郎、木下牧子、後藤洋、奥定美和、等の作曲家に委嘱を行い、世界初演を多数行っている。また海外演奏家との共演も頻繁に行なっている。さらには James Wood、N.J.Zivkovic、W.Kraft、Keiko Abe、XENAKIS、福士則夫、池辺晋一郎、等の演奏家&作曲家の作品をフィーチャーしたプログラムを取り上げ、「現代打楽器アンサンブルの潮流」と題して、現代打楽器音楽の紹介と普及活動を行なっている。2013年に世界初演した西村朗の打楽器オーケストラとヴォイスのための室内楽オペラ「バガヴァット・ギター」をNHKにより再収録され、NHK-BSプレミアム、<クラシック倶楽部>で3度、放映された。2014年にはクロアチア国際打楽器週間、2015年にはルーマニア国際打楽器フェスティバル、2019年には中国 IPEA 国際打楽器フェスティバルより招聘され、西村朗「KITORA」を世界初演する等、活動の領域を広げている。現在リリースされているCDには「WISH」「KECAK」「ヤントラ」「打楽器魂」「セレモニアル」「アメリカン・コンポーザーズ」「邦人打楽器アンサンブル作品集」「福士則夫打楽器作品集」「池辺晋一郎打楽器作品集」「Phonix Marimba Orchestra I」「Phonix Marimba Orchestra II」等、計21枚がリリースされており、レコード芸術誌等の音楽専門雑誌、日経、朝日、読売、等新聞各紙のCDレビューで高い評価を得ている。

上野 信一

マルチ打楽器奏者・指揮者。元 仏国立ストラスブール・フィル打楽器奏者、元 仏国立トゥールーズ・キャピトル管弦楽団・首席 打楽器・ティンパニー奏者。パリ国際現代音楽コンクール特別賞、マリア・カナルス国際コンクール3位等受賞歴多数。これまでにアメリカ、フランス、イタリア、クロアチア、ルーマニア、中国、韓国等の国際フェスティバルでの招聘演奏。A.Jolivet、P.Creston、W.Kraft、N.T.Daoの協奏曲をトゥールーズ・キャピトル管弦楽団、独・ドレスデン・フィル等のオーケストラと共演。デビュー以来40回のリサイタルを世界各地で開催。初演曲100曲以上。現在21枚のCDアルバムがリリース（特選盤選出4回、2019年レコードアカデミー賞現代音楽部門にノミネート）、活動は各大手新聞、音楽雑誌等で高く評価されている。米・インディアナ州立大学（ブルーミントン校）、North Texas Univ.、仏・国立高等音楽院（リヨン校）、韓国ヨンサム大学、上海音楽院、スイス（ローザンヌ音楽院）にてマスタークラスを開催。フランス、イタリア、クロアチア、ブルガリア、韓国、中国 IPEA 国際打楽器コンクールの招聘審査員。ソロ演奏家としてのキャリアの他、Percussion Group Shiniti Uéno & PHONIX- Réflexion 並びに Phonix Marimba Orchestra を主宰、指揮者 / 芸術監督。日本打楽器協会 常務理事。YAMAHA アーティスト。



打楽器アンサンブル“ラガ” RAGA Ensemble de Percusión Contemporáneo



演奏 Edwin Tovar Ernesto Juárez 宮坂香

Edwin Tovar (E. トバル) : Triptico (トリプティコ)

Ernesto Juárez (E. ファレス) : Zona-S (ゾーナ エセ)

Salvador Torr  (S. トーレ) : Pop Wujl (ポップブッフウノ)

打楽器アンサンブル“ラガ”は2000年に結成され今年(2025年)25周年を迎え、記念周年としてたくさんの会場でのコンサートを行っています。これまで多くのメキシコ国内および国外の作曲家に作品依頼もし、既存の現代音楽曲の演奏のみならずオリジナル作品のレパートリーを開発し普及させること、および演劇的な音楽の演奏にも力を入れています。(宮坂香)

宮坂香 (日本)

3歳よりヤマハ音楽教室へ通う。6歳より小磯幸彦先生の元マリimbaを始め。木琴協会(現在「マリimba協会」)にて東京コンサートおよび全国選抜マリimba大会に多数出演。武蔵野音楽大学音楽学部音楽教育学科マリimba専攻入学、卒業。青年海外協力隊員として中米エル・サルバドルへ赴任。国立オーケストラにて演奏および同僚への技術指導。メキシコへ渡り、日本メキシコ学院日本語教育部就職。メキシコ人中学生および高校生への日本語教育における音楽授業を担当。2002年打楽器アンサンブル“ラガ”へ参加、現在トリオとして活動。2013年打楽器トリオ“バラ・リブレ”の活動開始、現在に至る。



Edwin Tovar (エドウィン・トバル) 代表

メキシコ人ミュージシャン、打楽器奏者、作曲家、サウンドデザイナーとして幅広いキャリアを持つ。INBAL 音楽高等専門学校で学び、打楽器奏者の学士号を取得、優等学位で卒業。彼の創作および作曲活動は、主に自身のパーカッション・アンサンブル「RAGA」を通じて展開されている。音楽メンバーとしてメキシコ国立劇団で6年間活動し数多くの演劇作品に参加。メキシコ外でも RAGA として、世界各国の主要なフェスティバルに参加している。現在は、打楽器現代音楽アンサンブル「RAGA」のアートディレクター、国立自治大学 (UNAM) 演劇センターでの教鞭、メキシコシティ青少年フィルハーモニー管弦楽団の打楽器指導者として活動している。



Ernesto Juárez Soto (エルネスト・ファレス・ソト)

打楽器奏者、作曲家、打楽器のための新しい音楽の演奏に専念している打楽器現代音楽アンサンブル「RAGA」のメンバー。音楽研究センター (CIEM) およびベラクルス大学で学んだ後、バレンシア国際大学で音楽研究の修士号を取得。現在、フィレンツェ芸術アカデミーの現代ポップス音楽部門コーディネーター、およびメキシコシティのルイス・スポタ・サアベドラ芸術教育センター (INBAL) の講師を務めている。



ザ・ブルースカイトリオ

演奏 宅間 善之 (Vibraphone) スインギー奥田 (Drum) 菅井 信行 (Bass)

J.S. バッハ：主よ、人の望みの喜びよ

D. エリントン & J. ティゾール：キャラバン

宅間 善之 (Vibraphone)

父・宅間久善は、日本のマリンバ界を代表するマリンバ/パーカッション奏者である。4歳でマリンバを始め、5歳でNHK番組に出演してデビュー。武蔵野音楽大学を首席で卒業したのち、さだまさしのバックバンドに参加。ソロ作品や著書も出版。宅間善之は、そうした父・久善の影響を受け、幼少の頃よりマリンバに親しみながら育つ。中学・高校時代にはマーチングバンド部に所属し、全国大会や海外遠征を経験。その後、ジャズへの関心を深め、マリンバと並行してビブラフォンを学ぶようになり、高校卒業後バークリー音楽院へ留学。ビブラフォン、マリンバ、理論、アレンジを本格的に学び、2002年には Most Active Mallet Players Award を受賞。帰国後は自身のライブ活動に加え、スタジオ録音やサポート演奏、作編曲など幅広く活躍し、父・久善のレコーディングやコンサートツアーにも参加し、独自のビブラフォン表現を築いてきた。弟・宅間政彰は、洗足学園音楽大学音楽学部器楽科打楽器専攻を卒業。在学中から演奏活動を始め、卒業後はマリンバ奏者としてソロ活動を行う。このように父・久善が切り開いてきた日本のマリンバの伝統がまずあり、宅間善之は、マリンバの基礎を土台にビブラフォンの世界へと表現を広げている。兄弟ユニット「MALLET × PIT」を結成し、ビブラフォンとマリンバによるアンサンブルを展開。クラシックからジャズ、親しみやすい楽曲までを独自の編曲で届ける。今回、中高校生にもジャズ vib を親しんでもらうため、クラシックのバッハをアレンジし、皆さんに演奏をお楽しみいただきます。



スインギー奥田 (Drum) 代表

1966年東京都生まれ。結成80周年を超えた、戦前より活動する世界最年長ビックバンド、ブルースカイオーケストラのバンドリーダーであり、ドラマー&打楽器奏者(ジャズ、ラテン、ダンスナンバー)の第一人者、ブルースカイオーケストラ初代リーダー奥田宗宏を父に持ち、本物のジャズ、アーティストたちに囲まれて、幼少期を過ごす。ニューヨーク、ロサンゼルスなど、有名ミュージシャンと共演。近年では「Swing する吹奏楽」をテーマにしたCD & 楽譜「Swing Brass シリーズ」、「全日本ポップス&ジャズバンドグランプリ大会」のプロデュース等を行う。現在、一般社団法人日本ジャズ協会 21 会長。



菅井 信行 (Bass)

ロックバンドでYAMAHA オーディションに合格しプロとして活動を開始。その後ソウルバンド等を経てJAZZに転向し、ウッドベース奏者として、その地位を確立。スインギー奥田&ブルースカイオーケストラメンバーとして活躍する傍ら、ジャンルを問わず各トップアーティストと共演。



演奏楽譜を販売するBASE (Swing Brass Shop) です。
QRコードをご覧ください。

♪ 協会員・ゲストによる大フィナーレ! 「ラブソディー」

(作曲: 外山 雄三 / 打楽器版編曲: 岩城 宏之)

指揮: 百瀬 和紀 / Vib solo: 渡邊 歩紀 (2025 年度岩城賞)

♪ 18:00 ~ 打生会主催による交流会 / ステージ上にて



TOKYO INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL 2026

音楽をやろう! は3日間の共通のメッセージです。ジャンルを超えて、親しみのある楽曲をお楽しみいただきます!

2026年 **5月2・3・4日開催** 会場 **大田区民ホール アブリコ**

土 日 祝 月 祝 東京都大田区蒲田5丁目37-3 JR京浜東北線蒲田駅南口徒歩約3分

パスポートチケット公演 4,400円 (税込) 3日間のパスポート公演入場券(自由席)
大学生以下 学生証提示・当日券のみ2,200円tax

<p>5月2日(土) 大ホール 開演 11:00 全日本ポップス&ジャズ バンドグランプリ大会 特別演奏会 <small>参加団体 全日本ポップス&ジャズバンドグ ランプリ大会等の優秀団体より選抜</small></p>	<p>5月3日(日・祝) 小ホール ワールドミュージック 開演 11:20【モンゴル音楽】 馬頭琴ホーミー: パータルジャブ・ポルドエルデネ 開演 13:00【オペラで感じるイタリアの香り】 オペラハイライト / プラノ四峯峰子 / 他 映画「ゴッドファーザー」とカンツォーネの世界 みんなで歌おう ナブッコ・故郷 他 ※合唱公募 開演 15:10【大阪でっせー】 ぼんちおさむ×朱夏洋子 with 石田美智代 16:10【心で歌う・演歌】米室一哉 16:50【シャンソンを謳う】金子睦&レジョン・ルイ</p>
<p>5月3日(日・祝) 大ホール 開演 12:30 世界の打楽器の祭典 エイサー 東京沖縄県人会エイサー隊 サンバ OpusII-BR38 和太鼓 大元組 ビブラフォン 宅間善之</p>	<p>5月4日(月・祝) 小ホール ジャズマラソン 2026春 開演 14:00【サバオ&フレンズ with 鈴木史子】 15:00【清水万紀夫 クラシックジャズトリオ】 16:00【榊澤伸之トリオ】 17:00【藤田憲一とデキシーキングス】</p>
<p>5月3日(日・祝) 大ホール 開演 14:45 沖縄芸能祭 全12演目 かぎやで風 東京琉球舞踊協会 四つ竹 東京琉球舞踊協会 東京八重山古典民間保存会(斉唱) 平川美香</p>	

13 Allegro *energico* x2

Musical score for measures 13-16. The score is for four parts: A+B, C, D, and E. The time signature is 4/4. The key signature has one sharp (F#). The music is in a 4/4 time signature. The first part of the system (measures 13-14) is repeated twice (x2). The second part of the system (measures 15-16) is also repeated twice (x2). The notation includes eighth and sixteenth notes, rests, and dynamic markings (>).

Musical score for measures 14-16. The score is for four parts: A+B, C, D, and E. The time signature is 4/4. The key signature has one sharp (F#). The music is in a 4/4 time signature. The first part of the system (measures 14-15) is repeated three times (x3). The second part of the system (measures 16-17) is repeated seven times (x7). The notation includes eighth and sixteenth notes, rests, and dynamic markings (>).

Musical score for measures 15-17. The score is for four parts: A+B, C, D, and E. The time signature is 4/4. The key signature has one sharp (F#). The music is in a 4/4 time signature. The first part of the system (measures 15-16) is repeated twice (x2). The second part of the system (measures 17-18) is also repeated twice (x2). The notation includes eighth and sixteenth notes, rests, and dynamic markings (>).

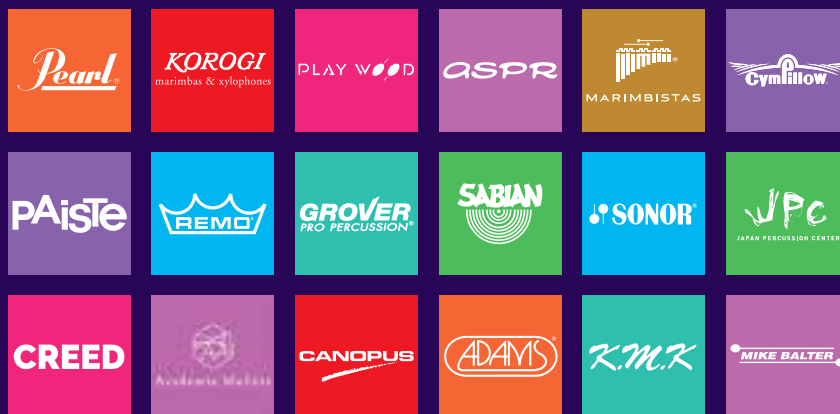
Musical score for measures 18-21. The score is for four parts: A+B, C, D, and E. The time signature is 4/4. The key signature has one sharp (F#). The music is in a 4/4 time signature. The first part of the system (measures 18-19) is repeated twice (x2). The second part of the system (measures 20-21) is also repeated twice (x2). The notation includes eighth and sixteenth notes, rests, and dynamic markings (>). The piece concludes with the instruction *D.S.*

⊕ Coda

x4(6)

Musical score for the Coda. The score is for four parts: A+B, C, D, and E. The time signature is 4/4. The key signature has one sharp (F#). The music is in a 4/4 time signature. The first part of the system (measures 22-23) is repeated four times (x4). The second part of the system (measures 24-25) is also repeated four times (x4). The notation includes eighth and sixteenth notes, rests, and dynamic markings (>). The parts are labeled "Claves or Stick".

もっと伝えたい、感動を。



上記、メーカー以外にも、多数商品を取り扱っております。お気軽にお問い合わせください。



株式会社 全音楽譜出版社 <https://www.zen-on.co.jp/>
〒161-0034 東京都新宿区上落合 2-13-3 TEL. 03-3227-6270 FAX. 03-3227-6276

PLAY WOOD

Professional Percussion Instruments

NEW

BassDrum Mallet BDW-35

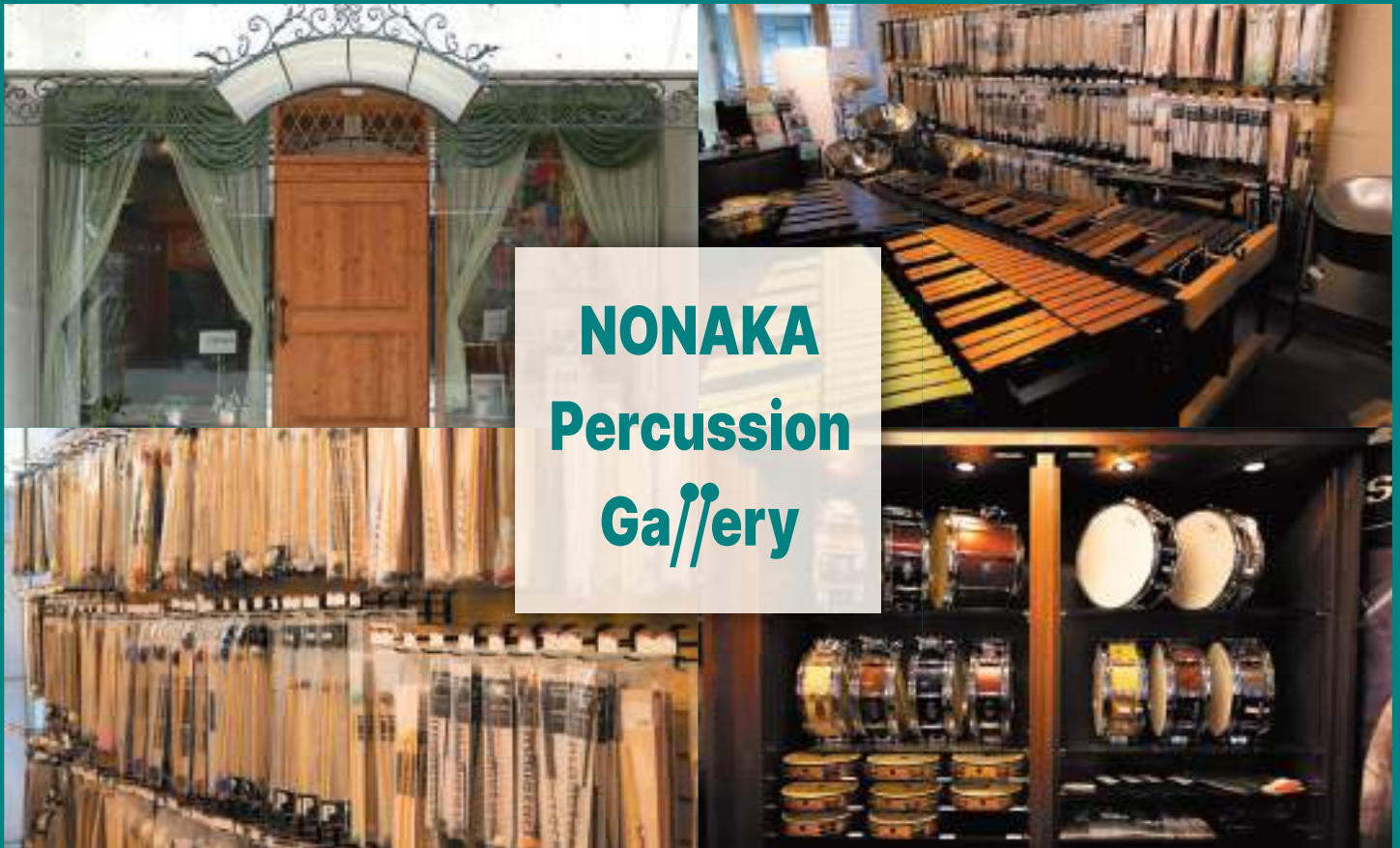
長年にわたりご好評をいただいている BD-35 の芯形状はそのままに、ウッド芯を採用した新モデル BDW-35 を発売いたします。コルク芯の BD-35 は単音でもロールでも使いやすいモデルですが、ウッド芯の BDW-35 では、より発音が明確になり、深みのある音が出せるマレットに仕上がりました。

また、ウッド芯のバランスに合わせてシャフトを 15mm 長くすることにより、ヘッドに重心が乗りやすく振り抜けも向上しました。無理なく自然に楽器を鳴らすことができるマレットで、さまざまな場面で活躍します。

すでに BD-35 をお持ちの方にも、ぜひお試しください。自信作です。



BDW-35
仕様：φ60×385mm
ウッド芯 合竹柄 ドイツフェルト



NONAKA Percussion Gallery

ノナカ・パーカッションギャラリー

日本では目にする機会の少ないスティールパンを各種揃え、5オクターブのマリンバやヴィブラフォン、更には豊富なコンサート打楽器、マレット類等を幅広く取り扱う打楽器専門店です。

Ludwig®

Musser®

Black Swamp Percussion

Istanbul Agop®
Handmade cymbals from Turkey.Istanbul Mehmet®
Handmade Cymbals from Turkey

Bosphorus

Saito

Malletech®

CRAVIOTTO
THE CRAVIOTTO DRUM CO.
MADE IN U.S.A.

Innovative Percussion Inc.

FFWORLD™
percussion

panland®

STICKS & STEEL
BY MARIOPAN 2000 & Beyond™
Made in Trinidad & Tobago, W.I.
Designed by Leroy WilsonYahman
CAJON

insoundmallets

主な
取り扱い
ブランド

アクセス

東京都渋谷区道玄坂1-15-9
ノナカ・ミュージックハウス 3F
tel 03-5458-2512

Web



Map



営業時間

●月・木・金曜 11:00~19:00 ●土曜 10:30~19:00
●日曜・祝日 10:30~17:30 **定休日** 火曜・水曜



鉄道各線「渋谷駅」下車し、京王井の頭線方面へ。渋谷MarkCity4階までエスカレーターで上がり、道玄坂上方面の出口へ。「Zoff(メガネ店)」の先を出て直ぐ左へ、短い階段を上り右へ。最初の角を左折して4軒目です。大きな木製の扉が目印です。

NONAKA

いい楽器をあなたのもとへ

総輸入元 野中貿易株式会社 総発売元 株式会社ノナカ 231-0011 横浜市中央区太田町4-46 www.nonaka.com

公式アカウントで最新情報発信中!



<http://korogi.co.jp>



KOROGI

Perfection PF3000AC
5-1/3 octave concert marimba



株式会社 こおろぎ社

〒916-0144 福井県丹生郡越前町佐々生38-9-1
TEL(0778)34-2333 E-mail: front@korogi.co.jp

ネオリアこおろぎ

〒176-0012 東京都練馬区豊玉北5-7-20 定休日:毎週月曜
TEL(03)5912-5880 E-mail: neoria@korogi.co.jp

PLAY WOOD

Professional Percussion Instruments

Timpani Mallet



BassDrum Mallet



Keyboard Mallet



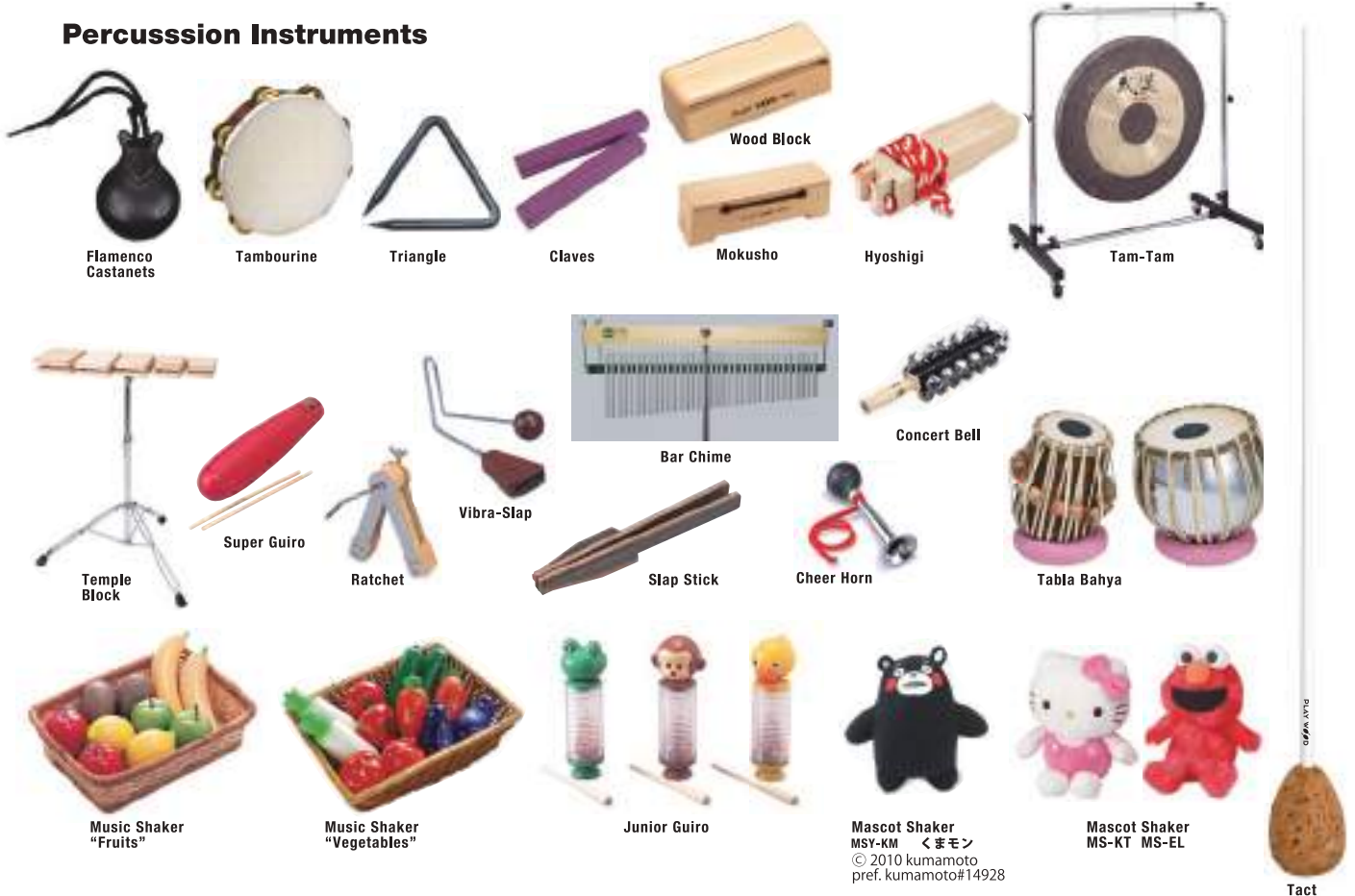
Sus,Cym.Mallet Tam-Tam Mallet Chime Hammer



Drum Stick



Percussion Instruments





Philharmonic

PURE



しなやかな美音。ナチュラルなベルカント。

メイプル材とブビンガ材を組み合わせた5mm厚の極薄シェルを採用し、最大限にシェルの鳴りを引き出すフィルハーモニック“PURE”。「ベルカント(美しい声)」を彷彿とさせる、自然で透明感のあるサウンドは、ヴァイオリンで使用されるニスの内面に施し、どこまでも繊細でインパクトのあるキャラクターを発揮します。

フィルハーモニック“PURE” PHTV1455S/C

¥157,300 (税込価格) ¥143,000 (本体価格)

- 14" x 5 1/2" (サイズ) ■4plyコンボジットシェル(メイプル+ブビンガ インナーヴァイオリンニス塗布) ■スーパーフープII (トップ/ボトム)
- ウルトラサウンド“D”タイプスナッピー ■サイレントストレイナー (SR-100) ■スィーベルラグ ■ゴールドレシオ (黄金比) ・エアベント





Yamaha Concert Marimba
YM-5100A

音域/C16~C76 5オクターブ
音板材/ローズウッド(オープンポアフィニッシュ)
音板幅・厚さ/72~41mm・24~20mm
共鳴パイプ/ヘルムホルツレゾネーター(C16~F21)、
長円レゾネーター(F#22~A#26)
高さ調整/ガススプリング方式(86~101cm)

お問い合わせ

お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器 ご相談窓口
フリーダイヤル TEL.0120-132-808 携帯電話、IP電話からは 050-3852-4087へおかけください。
受付時間:月曜日~金曜日 10:00~12:00/13:00~17:00(祝日、センター指定休日を除く)

製品情報
はこちら▶



株式会社ヤマハミュージックジャパン